

第10回 連続講座

共生フォーラムセミナー

10/10

(日曜日)

～多文化共生社会を考える～

在日フィリピン人として生きる

ミラグロス フェルナンド フジワラ
MILAGROS FERNAND FUJIWARAさん

プロフィール

福山市在住の在日フィリピン人1世。1989年に来日し、福山市に居住。翌1990年に日本人と結婚。以来30年、福山市で暮らし、さまざまな活動に関わる。キリスト教カソリック教会の縁で短期大学の英語講師となり、8年間勤める。その間、ボランティアで小学校や保育所で英語を教える。福山市在住のフィリピン人の交流や支援を目的にたった一人で「Filipino Friendship Organization (FFO)」を立ち上げ、さらに、フィリピン人だけではなく、アジアから来た外国人との交流を目的に「Asian Family in Fukuyama」を設立する。現在は福山市内の7校の小学校で非常勤として「ALT (Assistant Language Teacher)」を勤めながら、福山市在住の在日外国人の“ハブ”のような存在として、さまざまな在日外国人と関わりながら活動をしている。

広島在住 フィリピン人

広島県 7243人
広島市 2069人
福山市 1727人
(県は2017年、市
は2019年の統計)

開場 14:00 開始 14:30 ▶ 16:30

会場：広島市留学生会館2階ホール

参加資料代：500円(正会員・大学生以下無料)

主催：NPO法人共生フォーラムひろしま

後援：広島市・広島市教育委員会

第10回共生フォーラムセミナー 日 程

14:30 主催者あいさつ

14:35 「在日フィリピン人として生きる」 MILAGROS FERNAND FUJIWARA さん
(休 憩)

15:45 質疑 ・ 意見交換

16:30 終了予定



広島市留学生会館

広島市南区西荒神町1-1 ☎ 082-568-5931

広島駅南口から南東方向に約200m 会場は2階ホール

問い合わせ先

特定非営利活動法人共生フォーラムひろしま

733-0024 広島市西区福島町一丁目6番2-406号

☎ 070-3771-9235 (法人事務担当)

Email : kyosei_fm@gmail.com

HP : <https://kyousei-h.jimdofree.com>

Blog : kyosei-hiroshima.blogspot.com

福山市で暮らす外国人は、10月末現在で初めて1万人を超えた。企業の人手不足を背景に、東南アジア出身の技能実習生や留学生が増えた。国は外国人材の受け入れ拡大を目指しており、今後も増加が見込まれる。市は多言語での相談に対応するため、窓口に翻訳機能のあるタブレット端末を導入するなどの取り組みに力を入れる。市民レベルでも、地域の外国人と暮らすまちづくりを考える動きが出ている。

市民相談課によると、市内に住民登録がある外国人は10月末現在で1万221人。前年同月より9.7%増えた。国・地域別はベトナムが3416人と最も多く、中国2516人、フィリピン1600人、韓国737人、ブラジル391人、インドネシア350人と続く。増加率はベトナム人15.4%、フィリピン人5.9%、インドネシア人61.3%。一方、中国は1.3%減った。

在留資格別は企業で働く技能実習が3870人と最も多く、永住者2038人、留学1689人と続く。留学生もほとんどが地域でアルバイトをしており、働き手としても欠かせない存在になっている。中国人の減少は、母国の経済成長で日本で働く魅力が薄れたことが要因の一つとみられる。

市は日本語を話せない外国人の相談に対応するため、市役所1階の市民相談課に翻訳機能のあるタブレット端末を導入。今後は公共施設の案内表示の多言語化も検討している。市によると、市内には11の日本語教室がある。約220人が受講するが、運営ボランティアの不足が課題になっている。

外国人住民が増える中、市立大(港町)と外国人の支援者たち有志5人が、今年初めに「びんご多文化共生研究会」を発足した。8月から同大で市民も参加するワークショップを開催。外国人に分かりやすい日本語の話し方や防災、働きやすい職場環境づくりなど、幅広いテーマで学んでいる。(中国新聞2019年12月6日)

新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応について

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、セミナーを中止する場合には、遅くとも一週間前にはホームページに掲載し、メールでもお知らせします。また、実施に際しては広島市の基本方針に則った対策を実施します。何とぞご理解いただきますようお願い申し上げます。